

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	晩期再発肺癌の手術検体を用いた tumor dormancy 関連分子マーカーの発現解析 (B26-063)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部呼吸器外科学 主任教授 一瀬淳二
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	非小細胞肺癌の術後再発の多くは根治切除後 5 年以内に起こりますが、根治切除後 5 年以上を経て再発する晩期再発例も存在します。晩期再発例では腫瘍細胞が一定期間増殖を停止する現象、すなわち tumor dormancy (腫瘍休眠) の存在が示唆されています。ALK 陽性肺癌はこうした晩期再発の頻度が比較的高く、ALK 陽性肺癌が tumor dormancy を起こしやすい可能性があります。本研究の目的は、ALK 陽性肺癌の手術検体を用いて、tumor dormancy に関連する分子マーカー (p-ERK、p-MEK、p27、Ki-67、CA9 等) の発現を解析し、再発例と非再発例との間で発現パターンに差異があるかを検討することです。
調査データ 該当期間	2005 年 1 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2005 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に北里大学病院で非小細胞肺癌と診断され外科的切除を受け ALK 融合遺伝子陽性であった患者さんを対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2005 年 1 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、呼吸器外科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部呼吸器外科学 主任教授 担当 者：一瀬 淳二（いちのせ じゅんじ） 電 話：042-778-8828
備 考	